
真・暗黒勇者

ぱんくん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真・暗黒勇者

【Nコード】

N3394Y

【作者名】

ぱんくん

【あらすじ】

二人の悪魔騎士は全てを捨て、愛を考える。
その先には何がある？

「振りかざしたその手で、お前は何を掴み、何を失う」

私は答えられなかった。

だが、わからなくても私は進む。

地獄の皇子は臥龍の胃で創られた子宮を、早に破ろうと蹴り始めた。

時間がない。

皇子が子宮を蹴る音は世界崩壊のカウントダウンだ。

ドンッ

早くしなければ世界が崩壊する。

早く皇子を殺し、魔界を破壊せねば。地獄皇太子殿を殺さねば。

魔界の全てを裏切っても、あの人を助けたい。

あの人がいる世界を守りたい。

ドンッ

「ここから先に行くこと叶わぬ。引け」

「引く訳にはいかぬ。お前を殺したくはない。下がれ」

「今すぐ皇太子様に許しを請えば、命は助かるぞ」

「聞こえぬか、下がれ」

「……………何故、人を愛した」

「お前には関係ない。時間がない。どかぬならお前の屍を踏みこえるのみ」

「幼少からの友と戦うのは気が引ける」

「……………」

「……………私も付き合おう」

「……………何故だ」

「私も人の愛を知りたい。お前を全てを捨てるまでにする愛とやらを」

「……………すまぬ。いくぞ、時間がない」

ドンッ

私達は走り出した。

世界を守る為、人を守る為、愛を守る為、あの人を守る為。

「しかし、お前がその物を愛しても、その物がお前を愛すとは限らんだろう」

「……………かまわぬ」

「……………それが愛か」

「わからぬが、多分そうだろう。私はどうなってもかまわぬ。だが、あの人には生きてほしい。この思い、恐らく愛だろう」

「何故か、美しく思える」

「ああ」

メリッ

「老婆はお前になんと問うた」

「「振りかざしたその手で、お前は何を掴み、何を失う」、と」

「わかるか」

「わからぬ。だが進まねばならぬ」

「そうだな。共に目指したその先に、答えはあるのだろうか」

「ああ。・・・ありがとう」

「親友のためだ。それに、これも愛かもしれぬ」

「・・・そうかもしれぬな」

メリメリッ

「おい、あの雲の割れ目」

「ああ」

皇太子様も皇子も、全ての悪魔は死んだ」

「……………私達を除けばな」

「……………ああ」

「……………」

「おい、あの物か。お前が愛した女は」

「ああ。無事のようだ。安心した」

「お、おいつ、あの女に迫る物、悪魔の生き残りだ！」

「なに！？させぬぞ、彼女には指一本たりともふれさせぬ！」

「まてっ！」

「はあああああああああああ！……！」

ズガッ

「怪我はないか！？」

「きゃあああ……っ！！化け物……！！！」

「い、いや私はっ、」

「触らないでっ……！」

(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3394y/>

真・暗黒勇者

2011年11月8日04時14分発行